計画策定用シート4　個別保健事業の計画

* 本シートは、データヘルス計画の個別保健事業の計画策定のためのものです。
* 特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、受診勧奨、がん検診、後発（ジェネリック）医薬品推進など、データヘルス計画に含まれる個別保健事業について計画します。
* 「個別保健事業　計画１」では、現行の計画書などを参考にしながら、背景と目的を簡潔にまとめ、具体的な内容、評価指標などを整理します。
* 評価指標については、アウトカム、アウトプット、プロセス、ストラクチャーに分けて記入するのが一般的ですが、
	+ アウトカムとアウトプットは厳密に分けなくてもよいです。重要なのはKPIなので、KPIがわかるようにしておきます。
	+ プロセスとストラクチャーの指標は無理に設定しなくてもよいです。評価に当たって重要な指標を少数（1つか2つ）挙げておくのもよいでしょう。
* 数値目標の設定が可能な評価指標については、別途、年度ごとの数値目標を設定しておきます。
* 「個別保健事業　計画２」は、評価指標を、上記の4区分ではなく、「アウトプット指標（KPI）」、「短期アウトカム評価指標」、「中長期アウトカム評価指標」、「プロセス・ストラクチャー指標」の区分で記入するものです。詳しくは第4章の各個別保健事業を参照してください。

個別保健事業　計画１

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 背　景 |  |
| 目　的 |  |
| 具体的内容 | ※対象者、方法、実施者等 |
| 評価指標 | 区　分 | 指　標 | 備考（指標の定義、評価時期など） |
| アウトプットアウトカム |  |  |
| プロセス |  |  |
| ストラクチャー |  |  |

※評価指標詳細（数値目標が設定可能なもの）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 計画策定時 | 目標値 |
| R6 | R7 | R8（中間評価） | R9 | R10 | R11（最終評価） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

個別保健事業　計画2

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 背　景 |  |
| 目　的 |  |
| 具体的内容 | ※対象者、方法、実施者等 |
| 評価指標 | 区　分 | 指　標 | 備考（指標の定義、評価時期など） |
| アウトプット指標（KPI） |  |  |
| 短期アウトカム評価指標 |  |  |
| 中長期アウトカム評価指標 |  |  |
| プロセス・ストラクチャー指標 |  |  |

※評価指標詳細（数値目標が設定可能なもの）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 計画策定時 | 目標値 |
| R6 | R7 | R8（中間評価） | R9 | R10 | R11（最終評価） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

個別保健事業　計画１

プロセスとストラクチャーはなしでもよい。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 背　景 | 事業の背景となる状況を記入する。対象となる疾病等の現状、医療費等への影響など。「○○は近年増加傾向にあり、関連する医療費も増加しています。」など。できれば、自保険者等の数値なども記入するとよい。 |
| 目　的 | 事業の目的を、手短に、かつ明確に記入する。「本事業は、〇〇を行うことによって、△△することを目的とします。」など。 |
| 具体的内容 | ※対象者、方法、実施者等具体的な方法について、ある程度詳しく記入する。【対象者】　基準と抽出方法、およその人数【方法】　誰が、いつ、どこで、どのようなことを行うかがわかるように。時間的な流れ（フロー）もわかるように。委託の場合はその旨記入する。※およそ、この枠がある程度埋まるくらいの内容がよい。指標の定義、評価時期など、評価指標の説明があれば記入する。それぞれの区分で指標を設定（複数可）。特にKPI相当のものがわかるようにしておくとよい。アウトプットか、アウトカムか、どちらか明確になればよいが、わからない場合もあり（気にしない）。 |
| 評価指標 | 区　分 | 指　標 | 備考（指標の定義、評価時期など） |
| アウトプットアウトカム |  |  |
| プロセス | プロセスとストラクチャーはなしでもよい。 |  |
| ストラクチャー |  |  |

※評価指標詳細（数値目標が設定可能なもの）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 計画策定時 | 目標値 |
| R6 | R7 | R8（中間評価） | R9 | R10 | R11（最終評価） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  | 数値目標の設定が可能な指標については、年度別の目標値を記入しておく。 |  |

個別保健事業　計画2

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 背　景 | 事業の背景となる状況を記入する。対象となる疾病等の現状、医療費等への影響など。「○○は近年増加傾向にあり、関連する医療費も増加しています。」など。できれば、自保険者等の数値なども記入するとよい。 |
| 目　的 | 事業の目的を、手短に、かつ明確に記入する。「本事業は、〇〇を行うことによって、△△することを目的とします。」など。 |
| 具体的内容 | ※対象者、方法、実施者等具体的な方法について、ある程度詳しく記入する。【対象者】　基準と抽出方法、およその人数【方法】　誰が、いつ、どこで、どのようなことを行うかがわかるように。時間的な流れ（フロー）もわかるように。委託の場合はその旨記入する。※およそ、この枠がある程度埋まるくらいの内容がよい。事業の実施状況を年度ごとに評価するためのものであり、健診受診率、指導利用者数などの指標を記入 |
| 評価指標 | 区　分 | 指　標 | 備考（指標の定義、評価時期など） |
| アウトプット指標（KPI） |  | 事業が毎年上手くいっているか把握するためのものであり、対象者の改善率等を記入 |
| 短期アウトカム評価指標 |  |  |
| 中長期アウトカム評価指標 | 中間評価・最終評価時の事業目的（ゴール）の指標であり、生活習慣病の有病者や予備群の減少等を記入 |  |
| プロセス・ストラクチャー指標 | プロセスとストラクチャーはなしでも可 |  |

※評価指標詳細（数値目標が設定可能なもの）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 計画策定時 | 目標値 |
| R6 | R7 | R8（中間評価） | R9 | R10 | R11（最終評価） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 数値目標の設定が可能な指標については、年度別の目標値を記入しておく。 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |